

第 27 回福岡県立大学同窓会総会議事録

平成 29 年(2017 年)8 月 27 日 午前 10 時開始

八仙閣

【総合司会：松尾孝子】

定刻の時刻となりました。参加申し込みの方々揃われたようですので総会を始めさせていただきます。みなさま、ご着席よろしくお願ひいたします。

あらためまして皆様おはようございます。本日の司会進行を務めさせていただきます福岡県社会保育短期大学社会福祉科 8 期、松尾孝子と申します。本日はよろしくお願ひいたします。

それでは只今より第 27 回福岡県立大学同窓会総会を開催いたします。はじめに会長挨拶を行います。川上会長よろしくお願ひいたします。

【川上会長】

おはようございます。同窓会の会長しております社保短 4 期の川上鉄夫と申します。よろしくお願ひします。

今日は好天に恵まれて、非常に暑い中、130 名ほどの出席のご返事をいただいております。久しぶりに 100 名を超えるような会員の皆様方の出席のもとで同窓会の総会がこうやって開かれること自体、本当に心より感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。

皆さんご存知のとおり、今総会は看護学部の同窓会が少し別個になって、元に戻って実質的に初めての総会となっております。そういうふうな総会ですので、今回の事業計画や予算などの議題を準備させておりますので、どうぞ皆さん方いろいろな意見がございましたらおっしゃっていただきたいと思います。いろいろな意見があればということで、事務局の方から事前に意見の把握をしたいということで準備をさせて頂いて、寄せられた意見についてはこちらの方で整理しておりますので、それはそれとして対応していきたいと思います。

それと皆さん方にぜひ注意しとっていただきたいと思うのが、最近ですね、あの予想外の大雨が降りましてね、2 ヶ月ほど前もあの福岡県内の朝倉市それから宝珠山と小石原の一緒になったところですね、それから添田、それからお隣の日田市の方で大水が出ましてね、非常に痛ましい災害になっております。現在もまだ 5 名ほどの方が行方不明のままというふう聞いておりますけれども、本当に心よりお悔やみ申し上げたいと思います。

今日の総会の後、講演会、それから皆さん方と一緒に会食するような場の設定をいたしておりますので、ぜひ楽しいひと時をお過ごししていただきたいというふうに思います。

では、議題の方に移らせて頂きますのでどうぞよろしく申し上げます。

【総合司会：松尾孝子】

それでは議事に移りたいと思いますが、ここで会場からどなたか議長ご推薦いただけませんかでしょうか。

ご推薦がなければ、事務局推薦、当番期の県立看護専門学校看護婦科 7 期横手綾子様を議長をお願いしたいと思います。拍手でご承認お願い致します。

皆様のご承認を頂きましたので、横手さま、宜しくお願い致します。

【議長：横手綾子】

皆様今日は。ただいまご推薦いただきました当番期、県立看護専門学校看護婦科 7 期の横手綾子でございます。本日議長を務めさせていただきます。不慣れな点もあるかと思いますがよろしくお願ひいたします。

本日の進行について説明させていただきます。

お手元の総会資料をご覧ください。事前に総会資料を配布しておりましたので、お目通し頂いてるものとして進めさせていただきます。まず議題 1 から 3 までを一括して提案し、まとめて質疑応答と拍手による採決を行います。次に議題 4 の提案と質疑応答の後に拍手による採決を行います。次に議題 5 から 7 を一括して提案し、まとめて質疑応答と拍手による採決を行います。最後に報告事項の説明を行います。どうぞ宜しくお願い致します。

それでは議題審議に入ります。議題 1、平成 27 年度及び 28 年度事業報告、野口副会長お願い致します

【野口副会長】

皆さん、おはようございます。副会長の野口です。皆様のお手元にごございます議題 1、平成 27、28 年度の同窓会事業の報告をさせていただきます。座って説明させていただきますのでご了承ください。

皆様のお手元にはもうすでにこの活動報告等が事前に届けられているかと思いますが、ここにあげました 10 項目を基本として活動を展開をしております。また最後はの説明の後、その他の同窓会館つきましては川上会長の方から説明をして、あの、結果報告をして頂きたいと思っております。次の裏のページの方なんですけれども、主なところだけ、特に大きく変わったところだけを皆様にご説明させていただきます。平成 27 年度におきましては 3 月 31 日付けで、看護学部同窓会を本同窓会に統合する調印式を実施いたしました。平成 28 年度が一番大きな説明の項目といたしましては、福岡県立大学卒業式の卒業生へお祝いのメッセージとか、花のスタンド贈呈とかは今までしていたんですけど、初めて同窓会として記念品の贈呈っていうことで、多機能型のボールペン、今、事務局の林が持っておりますけれども、それを始めて全卒業生の皆様に贈呈いたしました。多目的のボールペンで記念品で使った分でございますけれども、1 本 500 円で売っておりますの

で、もしよろしかったら、購入させていただければありがたいというふうに思っております。それから3月31日には、平成28年度の熊本の地震がありましたので、その義援金の送金を熊本県の健康福祉政策課の方に、それとあと東日本大震災の募金の送金と言う事であしなが育英会の方にも募金を送らせて頂いております。主な同窓会の事業報告は以上でございます。

【川上会長】

座ったまま説明をさせていただきます。同窓会館のことなんですけれども、前回の総会時に同窓会については前向きに少し進めていただきたいというふうな声がありましたので、実際その同窓会館を整備するにあたって大学側がどういうふうな考えなのか、イエスなのかノーなのか、その辺を確認をしないといずれにしろ取り組めないっていうことがありましたので、日程調整を事務局長にお願いし、その結果が28年の3月に吉村事務局長と私とそれからの事務局の林と3人で同窓会としての考え方を説明をさせていただきました。具体的には総会で同窓会館の整備について前向きにっていう事があったので、一応同窓会としては、まずは大学側にですね、どういう考えなのか、同窓会館を整備するにあたってその辺の部分でオッケーなのかどうなのかですね、その辺の部分の考えを聞かせてくださいっていうことでご説明をさせていただきました。そうしますと、大学側は校舎に関するいろんな整備の関係で少し動きが出るかもしれないということで、今の段階ではちょっと答えが出しにくいということがございました。それで、もう少し時間を貸していただきたいということがございましたので、その後1年経過した29年の3月に吉村事務局長に再度お会いして、1年経過したのでその後の状況を把握するため日程調整をお願いしたいということと同窓会事務局から伝えてもらいました。しかしですね、その時に局長の方からより具体的にどの程度の規模の整備したいのか、その辺をおっしゃっていただいた方が協議がしやすい、というふうなご意見でしたので、後日私の方が、じゃあそういう大学側の考えであれば、同窓会として具体的にどんな同窓会館、現役の学生も含めて利用できるような同窓会館等を整理するのか、具体的な中身についてはまだ十分議論していませんから、一応少し時間を頂きたいということで大学側との協議はそれで一応終わってます。その後幹事会等でですね、同窓会館については本当に必要なかどうかというふうなご意見等が出ましたので、今回ですね、今年度と来年度の事業計画をする時にまた少し再協議ということで議題を載せてあるという状況でございます。それで一応私からはですね、大学側の協議についてはそういうふうなやり取りをして現在に至っておるということです。だから私の感覚としては、大学側は同窓会館について後ろ向きじゃないというふうなニュアンスで理解をしております。現状はですね。以上が簡単ですけれども、一応、口頭でのやり取りをさせていただきましたので、文書等では準備は今日は致しておりません。正式に今度は次の段階としては、何れ文書で同窓会として、こういう風な同窓会館を整理したいっていうような方向が出れば、そういうことを大学側に文書で伝えるということがいつかの時点で出てくると思いますが、現状は口頭での

やりとりという事でしたので報告をさせて頂きました。以上です。

【議長：横手綾子】

川上会長、ありがとうございます。続きまして議題 2 に移ります。平成 27 年度及び 28 年度決算報告、郡谷副会長、お願いします。

【郡谷副会長】

県立第 1 期の郡谷と言います。よろしく申し上げます。着座して説明させていただきます。

議題②③、平成 27 年 28 年度決算報告並びに監査報告ということで、まず一般会計平成 27 年度決算報告の説明をさせていただきます。

先ず収入の部です。大項目 1 番、繰越金、中項目 1 番、繰越金、予算額 264 万 444 円に対しまして決算額 264 万 444 円、2 番経常収入、これ以降ですね、主なところと大きなところのみ説明させていただきます。予算額 3,896,000 円、決算額 3,457,500 円、この経常収入につきましては(2)の年会費収入、ここがですね、298,500 円マイナスとなっております。この影響で下がってきております。3 番、臨時収入 366,688 円、決算額 734,251 円。続きまして収入合計です。6,903,132 円、決算額が 6,832,195 円、合計で増減ですが 70,937 円の減額となっております。

支出の部です。1 番、事務局費、予算額 1,892,016 円、決算額 1,904,560 円、増減 12,544 円。

2 番、事業費の所に行きます。2,627,681 円、決算額 2,344,913 円、合計で 282,768 円のマイナスになっております。3 番予備費、ここはですね、特に使うところがございませんでしたので増減としては 50 万円のマイナスとなっております。4 番、繰越金は上の方のですね、増減を受けて、減額を受けてですね、繰越金の方が増えております。予算額 1,883,435 円、決算額 2,582,722 円、増減が 699,287 円、支出合計が 6,903,132 円、決算額 6,832,195 円、トータルといたしまして 70,937 円のマイナスとなっております。

続きまして平成 28 年度の決算報告です。収入の部です。1 番、繰越金、予算額 1,883,435 円、決算額 2,582,722 円、増減といたしまして 699,287 円。2 番、経常収入 2,673,250 円、決算額 2,783,500 円。ここにつきましても(1)番の入会金の収入ですが、228 あ名の収入のみとなっておりますましてマイナスの 220,000 円となっております。収入の 3 番、臨時収入、予算額 6,581,629 円、決算額 7,270,642 円、この臨時収入につきましては(3)番の諸収入です。ここがですね、650 万円としてあげておりますが、看護学部同窓会とですね、同じ会になったということでその預貯金等をこちらの収入であげさせていただいております。

収入合計 11,138,314 円、決算額 12,636,864 円、増減につきましては 1,498,550 円となっております。

続きまして支出の部です。事務局費 1,910,132 円、決算額 1,613,599 円、増減と致しましては 296,533 円の方マイナスとなっております。続きまして 2 番事業費です。

予算額 1,442,716 円、決算額 1,835,663 円、増減といたしまして 392,947 円の増額となっております。これにつきましては(6)番の寄付金の方ですね、大学祭助成金、震災寄付金等ですね、増額しております。この影響で増えてきております。3 番目予備費 500 万円、決算額 4,692,000 円。増減 308,000 円。この予備品につきましては、先ほどはの説明がありました卒業記念品ですね、こちらの方を購入したということで増減に影響してきております。4 番目繰越金 2,785,466 円、決算額 4,495,602 円。こちらを上記の条件を受けて変動しております。支出合計が 11,138,314 円、決算額 12,636,864 円、増減が 1,498,550 円となっております。引き続き裏面ですね、特別会計の説明をいたします。

福岡県立大学特別会計、収入、繰越金 2,000,000 円、繰入金、これ先ほどのですね、看護学部同窓会の預貯金からということで 450 万円を繰入金としてあげております。合計 650 万円。支出の部です。繰越金として 650 万円あげております。2 番目の人間社会学部同窓会特別会計、これにつきましては、収入、繰越金 17,715,910 円、決算額 17,715,910 円、利息、予算額 7,975 円、決算額 6,889 円、増減といたしまして 1,086 円の減となっております。合計予算額 17,723,885 円、決算額 17,722,799 円、増減が 1086 円です。支出、繰り出し金といたしまして 4,975 円、決算額 4,878 円、増減が 97 円、こちらにつきましては一般会計ですね、利息の分につきましては一般会計へということになっております。支出合計 17,723,885 円、決算額 17,722,799 円、増減が 1,086 円です。続きまして看護学部の同窓会特別会計です。こちらにつきましても、元のお金はですね、定額で利息の方を一般会計にという流れになっております。繰越金 3,808,000 円、決算額 3,808,000 円、利息 1,600 円、決算額 1,521 円、増減 79 円の減額となっております。合計 3,809,600 円、決算額 3,809,521 円、増減 79 円です。繰り出し金 1,600 円、決算額 1,521 円、増減 79 円です。繰越金が 3,808,000 円、決算額 3,808,000 円。合計といたしまして 3,809,600 円、決算額 3,809,521 円、79 円の減額となっております。

こちらについてですね、特別会計については皆様方からいただいた質問の中に一つあったのですが、特別会計はこれから先も 3 本だてのままでしょうか、ということです。これもですね、かなり歴史が長くてですね、ちょっと事務局の方でもですね、整理をして、わたしもちょっと忘れていたところもありましたので、ちょっと色々見てみました。簡単に説明だけさせていただこうと思います。先ずですね、福岡県立大学が 4 年制になった時ですね、その前の社会保育短期大学同窓会があったのですが、その時に社会保育短期大学の後援会からですね、寄付金を特別会計として計上を始めております。後援会からのお金を特別会計としてあげるようになっております。これが平成 8 年の時にこうしてしますので、この時期になります。これにつきましては、学生会館とかですね、大学会館とか、大きなお金ですので、将来的にはということで特別会計としてあげていたものです。そのあとですね、県立の看護学部設置ですね、平成 15 年に看護学部設置ということになりました。その時に県立看護の専門学校同窓会のほうと色々協議をいたしまして、平成 13 年ですね、看護学部が平成 15 年にできるんですが、平成 13 年の少し早い段階で同窓会を統合

しようという話が起きてきております。この時に、平成 15 年に看護学部の方の同窓会にあった 3,808,000 円をうちの特別会計に入れるということで整理をしております。これもですね、目的が色々違ったりとか、すぐにお金がいるということもございませんでしたので、特別会計ということで位置づけして今の現在に至っております。もう一つの福岡県立大学同窓会特別会計なんですが、こちらにつきましては今 650 万円、看護学部の方と県立大の看護学部の方と一緒にしまして、その時に 450 万円入っております。その前にですね、200 万円あるんですが、この 200 万円というのが県立大の同窓会として積み立てをしようということで始めたお金です。平成 16 年に 100 万円をまず入れておまして、平成 17 年から 50 万円ずつ積み立てをするという予定で計画をしておりました。ですが、17 年、18 年は入ってきたんですけども、そのあとですね、繰入をするようなことができない状態になってまいりました。というのは、一つは県立の大学の中で看護学部が別にできたということが大きな原因となっております。それで 200 万円しか積み立ててなかったのですが、去年の看護学部とですね、一本化に伴いまして 450 万円、で現在 650 万円があるということになっています。それで福岡県立大学同窓会特別会計、人間社会学部同窓会特別会計、看護学部同窓会特別会計、一応特別会計としての今の位置づけとしてはその流れでなっております。

ちょっと言いかえをします。人間社会学部同窓会の特別会計は福岡県社会保育短期大学、要するに社保短時代の後援会からいただいたお金と簡単に言うと理解してください。看護学部同窓会というのは福岡県立看護専門学校の同窓会のあったお金を入れたということで理解してください。

すみません、ちょっと長くなりましたけれども平成 27 年 28 年度の決算報告は以上です。

【議長：横手綾子】

はい、ありがとうございました。

続きまして、議題 3、平成 27 年度及び 28 年度会計監査報告を会計監査の石本さんよりお願いします。

【石本会計監査】

みなさん、おはようございます。わたしは県立大学 2 期生の石本と申します。会計監査を担当させていただいております。先日、平成 29 年 5 月 17 日に、先ほど会計報告がありましたけれども、関係帳簿及び関係書類の監査を行いました。伝票など全てのものを確認させていただきましたが、上記のとおり間違いがなかったことを報告させていただきます。よろしく申し上げます。

【議長：横手綾子】

石本さん、ありがとうございました。

議題 1、2、3 について、事前に参加票に議題に対するご意見、ご質問いただいでい

ましたけど、特別会計の件に関しましてはご説明いただきましたので、あと会場からご意見、ご質問がありましたらお願いします。挙手をしていただいたらマイクを持ってまいりますので、マイクが参りましたら卒業校、学科名、お名前をおっしゃってからご質問、ご意見をお願いしたいと思います。

無いようですので採決に入りたいと思います。議題 1、2、3 についてご承認いただけるようでしたら拍手をお願いします。

(拍手)

ありがとうございます。拍手多数により議題 1、議題 2、議題 3 は承認されました。続きまして議題 4 の役員改選に移ります。4 役の方は退席お願いいたします。

(4 役退席)

議題 4 の役員改選を行います。まず、推薦や立候補される方、どなたかいらっしゃいませんか。いらっしゃいましたらお願いいたします。いらっしゃらないようですので、事務局案を提案いただくこととしたいのですが異議ございませんか。よろしいですか。拍手をお願いします。

(拍手)

それでは異議なしの声と拍手を頂きましたので、事務局、提案をお願いしたいと思います。

【事務局：林】

こんにちは、事務局の林です。よろしくお願いいたします。

議題 4、4 役改選についてです。今年度 4 役会にて、川上会長より退任の意思表示がされました。川上会長には平成 7 年より副会長、平成 21 年より 4 期 8 年間、会長をお引き受けいただきました。今まで本当にお世話になりました。ありがとうございます。

川上会長の後任につきまして同窓会幹事会で検討され、本日の総会にて候補を推薦いたします。選出のポイントといたしまして 4 役のバランス、卒業校が異なる会員で構成されている同窓会ですので、それぞれの卒業校を代表できる 4 役を構成しています。

ということで副会長を福岡県社会保育短期大学の方の中から選出をお願いしたいと思います。次のように候補を事務局より推薦いたします。

会長、野口久美子さん、福岡県立看護専門学校保健婦助産婦科 2 期、副会長、杉本眞佐子さん、福岡県立保母養成所 15 期、副会長、村島京子さん、福岡県社会保育短期大学保育科 11 期、副会長、郡谷忠士さん、福岡県立大学社会福祉学科 1 期を候補として推薦いたします。ご検討よろしくお願いいたします。

【議長：横手綾子】

役員改選につきまして、皆様拍手でご承認いただければと思います。

(拍手)

よろしいでしょうか。会長が今度変わられるということで、新しい副会長が 1 名入

られるということです。新役員の方々、中に入っていてよろしいでしょうか。

役員紹介につきましては議題審議後に行いたいと思いますので、続きまして議題 5、平成 29 年度及び平成 30 年度事業計画案審議に移りたいと思います。杉本副会長、説明をお願いいたします。

【杉本副会長】

県立保母養成所の 15 回になります杉本と申します。よろしくおねがいします。議題 5 の平成 29 年・30 年度と同窓会事業計画案をご覧になっていただきたいと思います。平成 29 年・30 年度は以下の 10 項目を基本として同窓会事業を計画しております。ご覧ください。具体的な活動予定として裏面をご覧ください。7 月 1 日、同窓会総会案内発行、発送をいたします。これは全会員にいたします。平成 29 年度会費徴収開始と年会費減免申請受付開始をいたします。減免申請の方は随時受付中ですのでいつでもお申し込みください。同窓会活動への寄付金の呼びかけ、平成 25 年から平成 29 年 8 月 25 日までの寄付金状況は延べ 459 名です。総額は 1,491,772 円となっております。たくさんの会員の方からのお気持ちが届いています。

それから 8 月 27 日、第 27 回同窓会総会を開催しました。今日のことですね。八仙閣で今日開催していることです。それから 10 月中旬、同窓会会報の第 29 号の発行発送を予定しています。これは新卒者の方と年会費納入者の方に発送いたします。11 月の 11、12 日は秋興祭が大学の方でありますので、それに同窓会ブースを設置して秋興祭に参加をいたします。

30 年度に移ります。7 月中旬に同窓会会報第 30 号の発行発送をいたします。これは新卒者と年会費納入者のみの発送となっております。

議題の 10 番のところですね、同窓会館整備準備に、同窓会館のありかたについてという項目がありますが、これは総会資料をお配りした時にご意見が出ていましたので、報告させていただきますが、前回の時に川上会長から報告がありましたように、今後のことについては大学側との協議を進めていくということで再確認したいと思います。大学側の意向もあることですので、こちらから一方的ということではありません。再確認していきたいという方向で思っております。以上です。

【議長：横手綾子】

杉本副会長ありがとうございました。

続きまして、議題 6、平成 29 年度及び平成 30 年度予算案審議に移ります。郡谷副会長、説明をお願いします。

【郡谷副会長】

議題⑥平成 29・30 年度予算案でございます。

収入の部です。1 番、繰越金。予算額 4,495,600 円。こちらはですね、平成 27 年度

と違いますのは先ほど申しあげましたように、看護と同じになったとか、そういった原因が考えられます。2番、経常収入、4,744,000円。3番、臨時収入 639,787円。収入合計 9,879,389円。

支出の部です。1番、事務局費 2,022,797円、2番、事業費 2,707,350円、この事業費につきましても就業ガイダンス、(1)番の会議費に就業ガイダンス等入っております。これ実際ですね、昨年度はちょっとやれてないという状況でしたので、少しこの辺で金額が変わってきております。3番、予備費です。500,000円。4番、繰越金、4,649,242円。支出合計が 9,879,389円。3番のですね、(2)の予備費のところでウェブサイトリニューアルということで書かせていただいています。これにつきましては、今回ですね、久しぶりに大幅にですね、ウェブサイトの見栄えといいますか、変えておりますので、まだ変えたばかりなんですけども、その関係であげてきております。

平成 30 年度予算案です。収入、繰越金、4,649,242円、2番、経常収入、2,606,500円、3番、臨時収入、83,303円。収入合計といたしまして、7,339,045円。支出です。1番、事務局費、1,808,493円、2番、事業費、1,550,666円、3番、予備費 500,000円、4番、繰越金、3,479,886円。支出合計、7,339,045円となっております。

裏面です。特別会計、平成 29 年度、平成 30 年度予算案です。これも先ほど申しあげましたように、福岡県立大学と人間社会学部と看護学部同窓会ということで分けております。福岡県立大学同窓会特別会計といたしましては 6,500,000円、そのままですね、今のところ繰越金に全てなるということになっております。人間社会学部同窓会につきましては、これも利息をですね、実際についた利息につきまして一般会計に入れるという流れになっております。看護学部同窓会につきましても、同じように利息の分を一般会計に入れるということになっております。予算案については以上です。

【議長：横手綾子】

郡谷副会長、ありがとうございます。

続きまして議題 7、同窓会会則改正審議案について移ります。

村島副会長、説明をお願いいたします。

【村島副会長】

こんにちは。このたび新規に副会長として就任いたしました社会保育短期大学 11 期、村島京子です。どうぞよろしく願いいたします。それでは、座って説明、ご報告させていただきたいと思っております。

それでは、同窓会の会則案をご用意ください。よろしいでしょうか。本同窓会では事業計画の中にありますように、同窓会運営の充実を図るために、同窓会規定の整理を行っております。平成 19 年に旅費規程を作成し、総会承認を経て 20 年より施行。また、平成 19 年には個人情報保護方針を作成しております。平成 23 年には入

会金、会費規定を作成し、平成 24 年には会費の減免も開始しております。それでは同窓会会則案の説明をいたします。

今まで会員名簿第 19 条、「本会は適宜会員名簿を発行する。この際実費を徴収する。」となっておりますが、会員より連絡があり名簿を編集することはありますが、個人情報保護のため、名簿を発行する事業は、現在行っておりません。そのため、第 19 条の変更の提案をいたします。

「第 19 条 本会は会員情報を管理し、適宜更新する。」「附則 この会則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する」

以上、ご審議よろしく申し上げます。

【議長：横手綾子】

はい、ありがとうございます。

議題 5,6,7 についてですけど、先ほど同窓会館のことにつきましては杉本副会長からのご説明があったことと思います。それ以外の中でご質問、ご意見のある方は挙手をお願いします。

(手が上がる)

【A さん】

予算案のことで、ちょっと質問したいと思うんですが、会費がだんだん納入の率が悪くなってきて、そして会の運営も大変になってきていると思うんですが、執行部としては、会費が皆さん払うような何かキャンペーンじゃないですけども、何て言うか、だんだん下がってきていて、っていうのが、前年度の決算を見てもそうですし、パーセントが書いてあるのを見てもそうなんですけど、そこら辺のことを事務局はどうお考えなのか伺いたいです。

【議長：横手綾子】

はい、では回答お願いできますか。納入会費が下がってきているということで。

【野口会長】

A さん、ご質問どうもありがとうございました。今のご質問というのは、執行部の方でも大変頭を痛めている問題でございます。これは、また、ホームページ等がどんどんリニューアルして、みなさんのところに新たな情報がどんどん届くようになりましたら、それを見て納入の方の力になっていただきたり、また、参加されている皆様の方のロコミが一番大きなあれになりますので、是非そういうことで、会費納入に向けて皆さんの声をどんどん出していただきたいなあ、というふうに考えてます。また、事業計画のところの中でも、ガイダンス等をやりながら、新しい会員さん等にもですね、色んなお声かけをしながら、新たな活動つてのを今後また中で検討していきたいなあっていう風に考えています。大変貴重なご意見、ありがとう

ございました。

【議長：横手綾子】

はい、ありがとうございます。今の内容でよろしいでしょうか。
次の方、お手が上がってますけど。時間も押してますので・・・
どうぞ。前から2番目の方に。

【Bさん】

同窓会館について先ほどからいろいろご説明を受けたんですけど、会館設立に大体いくらぐらいの予算を考えてあるのか。今の特別会計で3千万もないぐらいで、実際に会館を建てて運営、わたしは不可能だと思います。それと、もう一つは、確かにそれぞれの前身の学校があるかと思いますが、その学校の思いとかあるかと思いますが、総合した学校としてこの予算を、どう有効的に利用していくか、役立てていくか、もう一度考え直してもいいんじゃないかなと思ひましてご提案します。

【議長：横手綾子】

はい、ありがとうございます。同窓会館のあり方だと思います。この件について、お願いします、野口さん。

【野口会長】

Bさん、ご意見ありがとうございました。同窓会館につきましては、先ほど前会長が説明したとおりに、まだ具体的にどんなふうにしていくとか、そういう案はまだ全く中では検討しておりません。それで、今回皆様方にこの総会でかけたのは、同窓会館として今後進めていって、行くことに対しての皆様のご承認を得たいということでしたしまして、一応承認を得たというふうに考えていますけれども、今、江島さんのご意見のように、具体的に、じゃあ金額がどれくらいで、どの広さでしていくのかということは、まだ全く考えておりませんで、今、いろんな所の情報収集して本当にこの県立大学の同窓会の中で、今の予算的には金額がこれくらいしかありませんので、特別会計含めてですね、だからその中でやれるかどうかというのは、幹事会等でさらにいろんな意見をつめていきたいというふうに考えております。

【Bさん】

わたし勘違いかもしれませんが、同窓会館を設立するということでいいのですか。

【野口会長】

その方向で考えてますけれども。反対？

【Bさん】

わたしは反対なので、なんか全体的にどうするかというのを図っていただければと思います。設立ありきで話しが進んでいくのもどうかと思うんですが。

【郡谷副会長】

貴重なご意見、ありがとうございます。わたしは、今、副会長なんですけど、個人として発言させてください。

わたしもですね、いろいろ心配事はあります。今、大学のですね、教室を使わせていただきまして同窓会の運営をやっております。よその大学を見てもそういった形を取っているところももちろんございますし、別に棟を設けるところもあるようです。そういったところも全部考えてですね、本当に必要なのか、どういった面積があるとか、具体的には全く決まってはおりません。ただ学校側と、わたしたちの同窓会としても話しをゼロにしてしまいますと、学校も全く教室を準備しないとかですね、そういったことも考えられますので、学校との協議は続けていきたいと、わたしは個人的には思っています。そういった中で、本当にどんな規模で、そしてそこで何をするのか、例えば市民の方を入れて大学会館としてですね、いろんなイベントするとか、いろんな考えがあるかと思えますけども、すぐに建てるとか、そういった状態ではもちろんございません。今からどういったものが要るのか、本当に要るのか、そういったことをわたしは協議していかないといけないとは思っています。すみません、個人的な意見なのですが。

一応わたしたち役員としてもですね、学校側とも協議は続けてはいけないかなと思っています。ただ、すぐに今建てるとか、そういった話にはこれまでもなっておりません。ご存知のようにこのお金ではですね、やはりすぐには建てられない状況だと思います。例えば簡単な小屋を建ててもですね、機能として本当にそれでいいのかとか、学生さんがそこに集うのかとかいろいろありますので、皆さん方のご意見を聞いてそれを反映させていきたいと思っています。

【議長：横手綾子】

はい。Bさん、今の説明でご理解いただけましたでしょうか。

【Bさん】

すみません。ぜひ意見を聞く場を設けて欲しい、聞く機会を設けて欲しいと思います。よろしくお願いします。

【議長：横手綾子】

はい。よろしいでしょうか。事務局の方も執行部の方も。

では、今回承認事項に入っていますので、方向性としては先ほど執行部が言いましたように、具体的なことはまだ考えていないようですが、今後スタートすることになります。そういう事を含めて、江島さんよろしいでしょうか。そういう場を設けるっていうか、意見を聞いてくださいっていうことですね。

(手が上がる)
はい、どうぞ。

【川上前会長】

ちょっと手短かに説明なりしたいとおもいます。前回の総会の時に、同窓会の皆さんから一応同窓会館の特別会計の話があった時に、じゃあそういうふうな特別会計の金額をそのままにしないで、前向きに進めて頂きたいというふうなご意見がございました。それを受けて学校側と協議をしたという状況です。そして、事務局の方から説明がありましたけれども、資料収集をしながらですね、適当なまだ図面とかですね、建物どうするとか、参考になるようなものが今のところインターネットで調べる限りはまだございません。だから、今約 2 千 800 万ほど特別会計あるかと思えますけれども、どういうふうなハード整備するかによってですね、それが足りるのか足らんのか、そういうことも出てきます。しかしこの 2 千 800 万で絶対できるかと言うたら、そういうことはないと思います。だから、どの程度の分を整備するかというのが、一応一番重要なポイントになるかと思えます。なんか同窓会館というたらもう一個のですね、大きなものを想定したら、とてもそれはできません。だから、今現在は、事務室をご覧になったらわかると思いますがどれぐらいですかね、4m、4m ぐらいの四角い部屋の中で事務をしています。この中に色んな物品が置いてます。そこではどうてもう協議とかですね、できにくい状況がございます。だからそういった環境の中で、何とか皆さん方が来られた時にゆっくりと色々な話もできたらいいなとかいうふうな、まあ事務局側の色々な要望もございませぬけれども、そういった要望も含めてですね、先進地の同窓会館の情報を収集して、そして皆さん方に、じゃあこういうふうなことでどうでしょうかということを経済とか幹事会とかですね、そこで提案をしていくというふうなことになるかと思うんですけれども、しかし江島さんの、今このこと決まったんですかということを確認されたんですけれども、それを逆に決めていただかんとですね、事務局が動きが取れません。だから、肝心のスタートをですね、じゃあ同窓会館を整備するのかしないのか、するとしたら例えば準備委員会とか作ってですね、色々な資料を集めて、その中で予算と見合ったところで案分をいろいろ作って、そしてこういうふうな幹事会とか総会にかけて行って、そこで、いやーそれはちょっと良すぎるとか、もう少しいいんじゃないかというふうな意見で作り上げていくとうふうなことになるかと思えます。だから、今日は江島さんが意見でおっしゃいましたけれども、じゃあそれをどうするかという結論だけですね、頂いた方が、そうしないと事務局としては、多分中途半端な状況では学校側とも説明できないと思います。だから、よかったら今の段階で方向性を確認していただきたいということで、多分事務局側はあげてあると思います。以上です。

【議長：横手綾子】

今の説明でご理解いただけましたでしょうか。

今回の議題としてあがっています同窓会館設立に関しては、ゼロからのスタートなので、どうするかというのは今からの協議になると思います。大学側も含め。だけど、方向性としては執行部に関しては、ありきで考えていきたいということで議題としてあげています。その内容に関しては、また、おっしゃられるようにオープンで皆さんに採決とか、こういう総会の場で、先ほど元会長もおっしゃられましたように、諮る部分もあるかと思いますが。

すみません、時間も押してますので、それも含めまして何かご意見とか。ありますか。

(手があがる)

はい、どうぞ。

【Cさん】

びっくりしてます。養成所の15期生ですら、60終わりのほうで23%納めているんですね。いかに同窓会が楽しかったということだと思います。これだけ4年制大学になって、今日もこれだけいらしているのは、現役の方がたくさんいらっしゃると思うんですね。その同窓会館がいまいまだに建たないというのは本当に残念だと思います。わたくしどもは70歳の時にもう会費はやめようねと、だからこの残りを学校に寄付をして終わろうと言った時がありましたけれど、未だにちゃんと払っている人もいます。やっぱり同窓会の魅力はどこにあるかということと県立の大学であるということ、今ここにいらしてる現役の方で、もうちょっと同窓会を盛り上げて、経費のことで心配せずに、やっぱりできることを皆さんで、今日お誓いしてがんばっていただきたいと思います。老婆の話です。

(拍手)

【議長：横手綾子】

ありがとうございます。ほかにご質問ありませんか。よろしいですか。

では、先ほど議題5,6,7、あがってますけど、これについて承認いただける方は拍手をお願いします。

(拍手)

拍手多数にて、議題5、議題6、議題7の案は承認されました。案を消していただければと思います。

続きまして議題8に移ります。報告事項、事務局の方からお願いいたします。

【事務局：林】

総会資料に対する意見や質問の中で、今回北部九州の豪雨のことで、同窓会から寄付をされたらいかがですかというご意見がありました。もし、よろしければホームページにも掲載させていただき、会報29号の中に振込用紙というか募金の振込用紙を入れさせていただき、本日も募金箱を準備させていただいて、同窓会として北部九州の豪雨の募金をお願いしたいと思っております。受付期間としては、一応平成

30年3月31日まではどうかと思います。いかがでしょうか。

(拍手)

【議長：横手綾子】

ということで入口の方に置いておりますので、よろしく願いいたします。

これで、大体議事が終了いたしました。時間も押してますが何かありますか。ご意見がありましたら事務局の方に申し出頂ければと思います。

本日の議題 8 項目の審議が皆様のご協力により無事終わりました。やはり、同窓会館のことなど審議つくせないこともあったかと思いますが、これからも同窓会活動に皆様のご協力をお願いしたいと思います。

これで退席させていただきます。ありがとうございます。

(拍手)

【総合司会：松尾孝子】

横手様、ありがとうございました。

それでは先ほど選出されました役員を、野口新会長よりご紹介お願いいたします。

【野口会長】

皆さま、お疲れさまです。大変活発なご意見を出していただきまして、本当にありがとうございます。

川上会長の後を継いで、会長としてこんなに大きな役割が果たしてできるのかな、同窓会館の問題もあるし、会費の問題もあるしと大変頭を痛めていますけれども、この執行部 4 名体制で頑張っていこうと思っておりますので、色んなご意見を寄せていただきたいなあと思っております。自己紹介は一言ずつそれぞれお願いいたします。

【杉本副会長】

こんにちは。あらためまして県立保母養成所の 15 回生卒業の杉本と申します。よろしく願いします。会長のご意見と一緒にです。それで、同窓会を少しでもお力になったらいいなと思っておりますのでよろしく願いいたします。

【村島副会長】

新副会長になりました社会保育短期大学 11 期、村島京子です。先ほどから同窓会館の件です、活発な意見がありました。わたくしも社保短時代、青春を田川で過ごしまして、このたび 6 団体というか、6 つの学校が一つになった同窓会なんて、とっても素敵だなと思えました。そして 80 の先輩方々のご意見を聞きながら、また看護科の方のご意見を聞きながら、でもそうした中、できたら 1 室、2 室、3 室でも大学の中にそういう会館、自分たちが気軽に行って、この 6 つの同窓生が気軽に情報交換したり、親睦を図ったりできる、そういう県立大学ならではの同窓会館、同窓

会室みたいなものは欲しいなと個人的には思っています。どうぞ、また執行部に入りまして、みなさまの意見をいただきながら力を出していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【郡谷副会長】

県立大 1 期の郡谷といいます。もうわたし大分長いんですけど、いつも事務局の方とかにもですね、迷惑をかけております。今日もですね、いろんな意見をいただいて、やっと昨年ですね、看護学部と一本化できたということで、本当の意味で学生とか同窓生、関係者の方がですね、集うような同窓会室がですね、できればいいな。今もですね、事務局の方も頑張っております、学校に行けば分かりますけども、大変入りやすい、学生が入りやすいような環境を作っております。納入率の低さにわたしもちょっとびっくりするんですけども、やっぱり大学の学生時代から同窓会との関わりを持ってですね、それを継続していけば少しずつでも改善していくのではないかと考えております。職業ガイダンスとか、先輩方たくさんいらっしゃいます、いろんな分野でいらっしゃいますので、そういった方々にも貴重なご意見とかお話しをですね、そこでしていただければなと思っております。よろしく申し上げます。

【総合司会：松尾孝子】

新役員の皆さま方にもう一度暖かい拍手をお願いいたします。

(拍手)

それでは続きまして前会長の川上様から退任のご挨拶をお願いいたします。

【川上前会長】

今日ですね、今まで同窓会関係で約 24 年間頑張ってきましたけれども、私のモットーとして、自分ができる範囲で長くして行こうかな、いうふうなことで今までやってきました。今までの分で思い出せばですね、旧県看の方が県立大学の同窓会の方に加入したいということでの協議を 2 年ぐらい、確か数回に亘ってですね、させていただいて、そして現状として旧県看の同窓会を統合したというふうなこと。そういった動きがある一方で、皆さん方もご承知のとおり、県立大学の看護学部が同窓会としては不意を突かれた感じですね、独立をするというようなことが一方的にされて、そういった状況の中で同窓会としてはですね、やはり一本化がいいよということ呼びかけながら、皆さん方のご支援もあってですね、今日の議題の中にもありましたように、再度また県立大学に戻るよ、というようなことで、ようやく県立大学の同窓会が一本化されたかなというようなことで、そういうことがメインですね、走馬灯のように思い出されます。微力でしたけれども、今からはですね、役員退きますので一会員として少しですけども頑張っていきたいというふうに思います。どうも長い間ありがとうございました。

(拍手)

【総合司会：松尾孝子】

4期8年間の会長を長きにわたり続けてこられました川上会長に感謝の気持ちを込めて花束を贈呈いたします。

(拍手)

これをもって第27回福岡県立大学同窓会総会を閉会いたします。

終了：11時10分